



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3178 URL <https://www.chimney.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茨田 篤司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員財務担当 (氏名) 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,453	6.3	265	38.5	297	28.4	290	98.6
2024年3月期第1四半期	6,068	35.1	191	—	231	—	146	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 305百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	15	06	—	—
2024年3月期第1四半期	7	58	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	18,312	5,271	28.8
2024年3月期	17,893	5,062	28.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,268百万円 2024年3月期 5,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	12,900	4.5	480	14.7	530	7.3	380	83.1	19	69
通期	26,500	3.0	1,330	2.2	1,470	1.6	1,050	11.8	54	42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	19,340,800株	2024年3月期	19,340,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	47,895株	2024年3月期	47,895株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	19,292,905株	2024年3月期1Q	19,292,973株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の高まり等を受けて、緩やかな回復基調で推移しましたが、エネルギー価格の高止まりや物価上昇が続き、先行きは不透明な状況が続きました。

外食業界におきましては、お客様のご来店は順調に回復しているものの、原材料費・物流費・光熱費の価格高騰や人件費の上昇など、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループは「お客様からありがとうと言われる企業になろう」という企業理念のもとお客様に満足してお帰りいただき、また来たいと思っていただけるよう、継続してQ S C A (*1)の向上に取り組んでおります。

当社の創業40周年で迎えた当期は、感謝の気持ちを込めて感謝祭を開催しております。第1弾は、希少部位「牛カイノミひとくちステーキ」、船上凍結の品質が高い焼津産鰹を使用した「薬味たっぷり鰹のたたき」、第2弾は、「本まぐろ赤身刺身」、洋食屋66DININGのデミグラスソースで仕上げた「牛ヒレひとくちステーキ」、からあげグランプリ金賞受賞の「トリプル金賞セット」、第3弾では、お箸でほぐれる柔らかさが自慢の「やわらかスペアリブ」、阿武隈川メイプルサーモンを使用した「炙りカルパッチョ風」や「ユッケ風」をご用意し、ご好評をいただきました。また、感謝価格の390円メニューもご用意しております。

メディア戦略、WEB・SNS販促につきましては、人気Y o u T u b e r や他社製品等とのコラボレーションなどに積極的に取り組み、認知拡大に貢献しております。また、インバウンド及び国内旅行団体、宴会の集客は引き続き堅調に推移しております。

店舗開発としましては、お客様に居心地の良い空間を提供するため、継続して店舗のブラッシュアップ（改装、業態転換、修繕等）に取り組んでまいりました。新業態の開発・展開にも注力し、6月には火入れみつ囲 新宿西口パレット店をオープンしております。

コントラクト事業(*2)におきましては、直営店1店舗を出店し、引き続き、安全・安心な「また行きたくなる店舗づくり」を心掛け、各種フェアの実施や宴会の獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は6,453百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は265百万円（前年同期比38.5%増）、経常利益は297百万円（前年同期比28.4%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、290百万円（前年同期比98.6%増）となりました。

*1 Quality（品質）、Service（サービス）、Cleanliness（清潔さ）、Atmosphere（雰囲気）

*2 防衛省、法務省所管の厚生施設内における飲食店の運営等

当第1四半期連結累計期間の店舗数につきましては、以下のとおりであります。

	前期末	新規出店	閉店	FC 転換数	直営 転換数	第1 四半期末
直営店	211	1	△3	△2	—	207
コントラクト店	94	1	—	—	—	95
全直営店計	305	2	△3	△2	—	302
FC店	148	—	△3	2	—	147
当社合計	453	2	△6	—	—	449

(連結子会社)

(株)紅フーズ コーポレーション	18	—	—	—	—	18
めっちゃ魚が 好き(株)	8	—	—	—	—	8
当社グループ合計	479	2	△6	—	—	475

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて419百万円増加し、18,312百万円となりました。この主な要因は、のれんが115百万円、売掛金が97百万円減少した一方で、現金及び預金が665百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて210百万円増加し、13,041百万円となりました。この主な要因は、買掛金が99百万円、未払金が71百万円、賞与引当金が70百万円減少した一方で、前受収益が358百万円、未払消費税等が122百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて208百万円増加し、5,271百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いが96百万円あった一方で、当第1四半期連結累計期間の業績により利益剰余金が290百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,852,493	8,518,210
売掛金	801,254	703,581
F C債権	248,474	198,465
商品	277,185	260,625
貯蔵品	10,004	9,886
その他	599,724	555,498
貸倒引当金	△210,651	△189,270
流動資産合計	9,578,486	10,056,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,129,653	1,172,400
その他（純額）	215,955	220,449
有形固定資産合計	1,345,608	1,392,850
無形固定資産		
のれん	2,693,246	2,577,308
その他	43,333	37,090
無形固定資産合計	2,736,580	2,614,399
投資その他の資産		
差入保証金	3,222,782	3,184,811
その他	1,279,767	1,333,171
貸倒引当金	△269,559	△269,275
投資その他の資産合計	4,232,990	4,248,707
固定資産合計	8,315,179	8,255,956
資産合計	17,893,665	18,312,953

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,747,351	1,647,371
F C 債務	250,042	244,933
短期借入金	5,000,000	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	128,214	163,928
未払法人税等	47,418	12,454
賞与引当金	145,944	75,925
店舗閉鎖損失引当金	19,952	12,597
資産除去債務	33,784	24,349
その他	1,684,418	2,107,236
流動負債合計	9,057,125	9,288,796
固定負債		
長期借入金	1,983,146	1,942,164
退職給付に係る負債	227,694	228,752
資産除去債務	743,129	741,801
その他	820,056	840,161
固定負債合計	3,774,026	3,752,880
負債合計	12,831,151	13,041,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,197,792	4,197,792
利益剰余金	936,870	1,131,061
自己株式	△101,152	△101,152
株主資本合計	5,133,510	5,327,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△71,680	△57,475
退職給付に係る調整累計額	△1,946	△1,459
その他の包括利益累計額合計	△73,626	△58,934
非支配株主持分	2,629	2,509
純資産合計	5,062,513	5,271,276
負債純資産合計	17,893,665	18,312,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,068,848	6,453,760
売上原価	1,856,317	2,013,910
売上総利益	4,212,531	4,439,849
販売費及び一般管理費	4,021,059	4,174,724
営業利益	191,471	265,124
営業外収益		
受取利息	265	226
受取配当金	2,000	2,620
持分法による投資利益	23,362	19,973
受取手数料	15,162	17,302
その他	17,565	7,358
営業外収益合計	58,355	47,480
営業外費用		
支払利息	17,365	14,818
その他	1,056	729
営業外費用合計	18,421	15,547
経常利益	231,405	297,057
特別損失		
固定資産売却損	—	100
固定資産除却損	495	—
減損損失	73,711	11,515
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,592	794
その他	600	—
特別損失合計	79,399	12,410
税金等調整前四半期純利益	152,005	284,646
法人税、住民税及び事業税	12,067	11,560
法人税等調整額	△6,256	△17,449
法人税等合計	5,811	△5,889
四半期純利益	146,193	290,535
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△130	△120
親会社株主に帰属する四半期純利益	146,324	290,655

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	146,193	290,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129,182	14,205
退職給付に係る調整額	782	486
その他の包括利益合計	△128,399	14,691
四半期包括利益	17,793	305,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,924	305,347
非支配株主に係る四半期包括利益	△130	△120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	76,659千円	73,268千円
のれんの償却額	123,669千円	115,937千円